研究課題名　精神科作業療法の取り組みに関する調査研究

研究責任者名　広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門　作業療法士　野原卓也

研究期間　倫理委員会承認後～　２０２４年３月

対象者

２０２０年4月～２０２３年３月の間に、広島大学病院で作業療法を実施した患者さん

意義・目的

精神病床の新規入院患者の入院期間は短縮傾向にあり、作業療法においても急性期の短期入院患者を対象とする機会が増えています。しかし、退院した患者の再入院率は高い水準にあり、短期入院治療の充実と再発・再入院予防、地域移行・定着に向けた支援が求められます。そのため急性期における作業療法では、病状の安定とともに遷延化を防ぎ、社会生活技能習得や就労や復学への取り組みが可能な心身の基本的機能を回復し、早期に退院することが目的となり、早期導入への個別対応、小集団プログラム、現実感や身体自我の回復のための感覚運動プログラム等のシステムの構築が必要になります。

一方、せん妄は高齢の入院患者で高い確率で認められ、身体疾患に対する治療、検査、看護などにさまざまな程度の困難を生じ、離床やリハビリテーションが進まず、患者のADL 低下や在院日数の延長などの弊害につながることが知られています。対策として近年は急性期病院を中心にせん妄・認知症患者を対象とした院内デイケアが行われています。しかし、多くが看護師を中心に運営されており継続が難しいのが現状です。

広島大学病院では、2020 年４月から精神科作業療法を開設し、精神科入院患者に対するリハビリテーションプログラムとせん妄・認知症患者に対するリハビリテーションプログラムとしての院内デイケアに取り組んでいます。

今回、精神科作業療法対象者の内訳および精神科入院患者に対する個別対応した作業療法プログラムの取り組みの効果、精神科作業療法の一環とした院内デイケアの効果を明らかにすることは、短期入院治療の充実と再発・再入院予防、地域移行・定着の一助となることが期待されるため、この研究を計画しました。

方法

本研究は診療録（カルテ）の情報を用いて実施します。カルテから調査する項目は以下の通りとなります。

・基本属性：年齢、性別、診断名、合併症、同居家族、生活歴、職歴、学歴、在院日数、リハビリテーション介入日数、リハビリテーション介入回数

・処方：処方内容

・精神機能：

意識機能：Japan Coma Scale（意識の検査）、ニーチャム混乱錯乱スケール（せん妄の重症度の検査）、せん妄リスクアセスメントシート

知的機能：WAIS-R 成人知能検査（知能検査）

気質と人格の機能：HADS（うつと不安の検査）

活動と欲動の機能：Vitality index、Apathy Evaluation Scale（意欲の検査）

認知機能：改訂長谷川式簡易知能評価スケール（認知機能の検査）、Mini-Mental State

Examination（認知機能の検査）、認知症ケアスクリーニングシート、Frontal Assessment Battery（前頭葉機能の検査）、Trail making test（注意の検査）、Dementia Behavior Disturbance Scale（認知症の方の行動・心理症状の検査）、General Self-Efficacy Scale（自己効力感の検査）

心理社会的機能：精神障害者社会生活評価尺度（生活障害の検査）、入院生活チェックリスト、気分と疲労のチェックリスト、DAI-10（服薬意識の検査）

うつ病評価：ハミルトンうつ病評価尺度、老年期うつ病評価尺度、簡易抑うつ症状尺度

統合失調症の評価尺度：Positive And Negative Syndrome Scale（陽性症状と陰性症状の検査）、Brief Psychiatric Rating Scale（精神症状の検査）

・身体機能：血液検査（Alb など）,睡眠の量、摂食の量、握力、徒手筋力検査、膝伸展筋力体重比、10m 歩行速度、6 分間歩行試験、歩行能力（TUG）、バランス検査（開眼片足立ち検査）、Brunnstromstage（運動麻痺の検査）

・ADL：Barthel Index（食事や更衣、歩行などの日常生活の検査）、転倒転落アセスメントスコアシート（転倒リスクの検査）

・IADL：Franchey Activities Index、Lawton IADL（家事や外出などの能力の検査）

・QOL：Euro-QOL（健康関連の生活の質に関する検査）

・健康と活動：WHODAS2.0（健康および障害の検査）、日本版 GHQ12（精神健康調査）

・患者満足度：Client Satisfaction Questionnaire8 項目版

・就労能力：厚生労働省編一般職業適性検査、一般作業療法評価表、現場復帰援助プログラム

・退院時リハビリテーション指導：実施の有無と内容

・精神科退院前訪問指導：実施の有無と内容

（個人が特定出来る情報は転記しません）

共同研究機関

なし

試料・情報の管理責任者

広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門　作業療法士　野原卓也

個人情報の保護について

プライバシー保護に十分留意して調査内容を扱います。個人が特定される形で情報を公表したり、第三者に漏らすことはございません。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551　広島市南区霞 1-2-3

Ｔｅｌ：082-257-5566

広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門　作業療法士　野原卓也（研究担当者）

研究機関：広島大学